

## 宮崎市制90周年記念 第九演奏会

2014年12月21日(日)に、宮崎市民文化ホール(大ホール)で宮崎市制90周年記念、みやざき「第九」演奏会が開催されて、フルトン男声合唱団からも30名以上が参加して目一杯歌いました。

今回は宮崎市制90周年記念演奏会ということもあって、指揮は宮崎市出身の福井雄一先生が指導されました。

ソリストのソプラノには東京都出身で東京芸術大学、同大学院を卒業後ミラノとミュンヘンに留学し、プラシド・ドミンゴ世界オペラコンクール「オペラリア」等多数の国内外のコンクールに上位入賞した森麻希さんが特別出演されました。

アルトには宮崎市在住で東京音楽大学音楽部声楽科卒業の泊かずよさん、テナーはフルトン男声合唱団に以前在籍していたことのある岩元徹さんが、バスは宮崎市出身で現在は宮崎大宮高校の教諭としてお勤めの松本英樹さんが参加されました。

管弦楽は宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団と宮崎県アマチュアオーケストラ連盟に参加しているメンバーで構成されています。

合唱は宮崎市芸術文化連盟加盟に所属する合唱団です。

- ・宮崎コール・フロイント
- ・宮崎はまゆうコーラス
- ・宮崎混声合唱団
- ・フルトン男声合唱団
- ・バイオレットコーラス
- ・エレガント・セレーノ
- ・コーラスinみやざき  
 榎の会宮崎支部
- ・レインボーコーラスみやざき
- ・スターウィンド
- ・バスティア・ポプリ
- ・オペラ協会合唱団

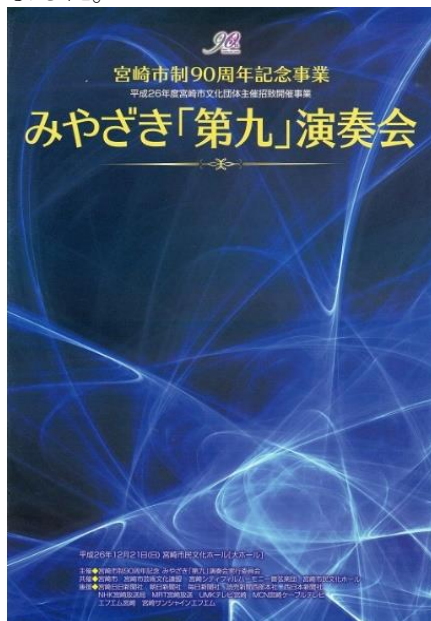
他にも県立宮崎大宮高等学校音



楽部の皆さんや日向学院中学校・高等学校合唱部の若い声も参加され、一般公募者も数名参加されました。

欧州の数々のオーケストラと共演、指揮をされています。

### 「第九演奏会・結団式」



司会はNHK宮崎放送局の百野文さんがされています。

プログラムによりますと、指揮者の福井雄一先生は宮崎北高校を経て、昭和音楽大学卒業後、2004年には単身渡欧されて、国際指揮者コンクールに上位入賞、



6月24日、メディキット県民文化センター(県立劇場)で12月21日の本番に向けての結団式が、イベントホールで開催されました。結団式終了後、4パートに分かれてパート練習、男声は大練

習室で竹村先生の熱の入った指導が行われました。パート練習の後、再びイベントホールでの全体練習となりましたが、竹村先生からは時々「ブラボー」の声が出るほど良い声が出ていたようです。



7月13日(日)には宮崎市オリーブライトホールで合唱の練習が行われましたが、今日の合同練習では竹村先生とフルトン男声合唱団の古田先生の指導がありました。来月は指揮者の福井先生がお見えになるということで、練習にも熱が入ってきました。



## 第48期定期総会

平成27年1月21日(水)平成27年度定期総会が、練習を少し早く終了して行われました。

立山団長は挨拶で、昨年は単独の演奏会はなかったものの、宮崎市合唱協会や宮崎県合唱連盟の行事に参加、今年はそれに加えて色々な行事が予定されているとの話がありました。

立山団長の挨拶(要約)

- ・若くないので健康管理に十分気を付けましょう。
- ・再来年(2017年)の50周年に向けて、今年度あたりから早めに準備を進めていきたい。
- ・半世紀という長い歴史を振り返って、50周年記念演奏会に際しては「記念誌」を考えたい。

甲斐指揮者からは第1に全員の合唱技術の更なるレベルアップを図ること、第2に「自習による復習・予習」を徹底すること、第3に新入団員の獲得に努め、将来の団作りを目標に若返りに取り組んでいくことを年間目標に掲げられました。

今年には宮崎で開催される「シニアコーラスフェスティバル」と「はまゆうコーラス創立45周年記念演奏会」が最大の行事になりそうです。

## 第21回 宮崎県ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル



2015年1月18日(日)メデイキット県民文化センター(県立芸術劇場)アイザックスターンホールで、第21回宮崎県ヴォーカルアンサンブルフェスティバルが開催されて、フルトン男声合唱団からも気の合った4人(松江さん、立山団長、曾根さん、藤崎さん)が「FDカルテット」として出場し、ロシア民謡「ともしび」とニュージーランド民謡「Now is the hour」の2曲を演奏しました。フルトン男声合唱団のメンバーが参加したのは、1997年以来18年ぶりですが、存在感を示してくれました。

出場団体はコンテスト部門では、中学校の部8団体、ジュニアの部が3団体、一般の部は5団体が熱演、フェスティバル部門でFDカルテット他5団体が演奏、午後に行われたコンテスト部門の小学校の部5団体高校の部が24団体で合計51団体の参加でした。特に印象に残ったのは中学生や高校生のレベルが一段と向上して、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

### 荒川さん(B1)の投稿

「31st国技館すみだ5000人第九」の国内交流委員会交流紙「パスカル」(No.36号)に寄せた字数制限付きの短いコメント

「Freude!」No.158号居谷冽先生の資料によると、昨年7~12月の半年に全国各地のなんと250ヶ所以上で「第九」が演奏されたとのこと。

その一環「宮崎第九演奏会」に266名の一翼を担い私の属する「フルトン男声」も参加。他の合唱団やオーケストラともよく調和し大好評を得ました。

中東・欧州をはじめ各地で世界を震撼させる事態が発生する今こそ、憎しみが憎しみを生みぬよう、報復の連鎖に終止符を打ち、人種・宗教を超えてお互いに異文化を認め合い、不平等・格差・差別の解消を求めていきましょう。「愛と平和のメッセージ」を国技館から世界へ届けよう!!



美しい楽器の音色と合唱で満員の観衆を魅了した「みやざき『第九』演奏会」

宮崎市制90周年で演奏会  
第九力強く  
市民350人が

「師走に宮崎で第九り、演奏が終わると天を」との市民の声を受ける拍手に包まれた。合同演奏会実行委が発する「みやざき第九」のコンサートの同日、同市の市民文化ホールであった。市民ら266人が参加した合唱団と、市民オーケストラ84人の計350人が見事なパフォーマンスを披露した。会場には重厚な楽器の音色と息の合った力強い歌声が響きわたった。

「舞台に立て感無量。森さんの歌声にはしびれた」と笑顔。福井さんは「出演者も演奏し歌う喜びを感じてもらえたと思う。幸せな時間だった」と話した。

指揮者に横浜市を拠点に活動する宮崎市出の福井雄一さん(45)が、ソプラノのソリスに国内外で活躍する森麻季さんを招聘(しょうへい)。4月に練習を始めた。8月からは福井さんが10年来指揮するなど練習を重ねた。会場には重厚な楽器の音色と息の合った力強い歌声が響きわたった。